

福祉と交通が連携した外出支援サービスとまちづくり――

超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略

～ウルトラ高齢・労働人口減少時代の バス・タクシー活用と市民参加の方策～

■体裁：A4版/198頁 ■発行：2018年7月25日
■定価：5,445円(税・送料込/本体4,950円)

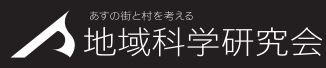
- 執 筆 溝端 光雄 / 自由学園最上学部講師、元東京都老人総合研究所室長、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 筆 吉田 樹 / 福島大学経済経営学類准教授、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 三星 昭宏 / 近畿大学名誉教授、関西福祉科学大学客員教授、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員
 鈴木 文彦 / 交通ジャーナリスト、国土交通省「地域公共交通の活性化及び再生の将来像を考える懇談会」委員

本書を推薦します

中村 文彦 横浜国立大学理事・副学長 / 久保田 尚 埼玉大学大学院理工学研究科教授 / 鬼塚 正徳 特定非営利活動法人せたがや移動ケア事務局長

内 容 構 成	【第1章】ウルトラ高齢時代の交通環境論 自由学園 溝端 光雄
	1. ウルトラ高齢化と社会活性 100歳まで生き残れる確率の上昇/交通戦争と交通事故死者数の推移/免許保有者の交通死亡事故件数(年齢層別)/道路横断中の死者数(年齢層別)/歩行者事故/心理の加齢変化と自尊心価値/認知症検査と運転免許返納/ウルトラ高齢時代と社会活性の向上策
	2. 歩行支援と移動手段 ウルトラ高齢期の歩速/ウルトラ高齢期の歩速の個人差/高齢者の道路横断時の認知判断/筋肉量の加齢変化と歩速/高血圧と糖尿病の予防と運動療法/バリアフリーの高度化
	3. 運転支援と移動手段 後期高齢期の運転者の筋機能の低下/動体視力の低下と加齢現象/高齢者の視野狭小化と白内障/認知判断機能の老化
	4. 活老と近未来の地域づくり
【第2章】超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術 福島大学 吉田 樹 ～路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化～	
1. 地方圏で懸念される交流機会の減少 交通の躊躇と将来への不安/人口減少下の青森県では/地域のバス交通衰退の事由/情報へのアクセシビリティが低いバス交通	
2. 地域交通政策のベンチマーク「交通政策基本法」 交通政策基本法/地域交通政策の制度と活用/地域交通政策のベンチマーク/超高齢社会における交通計画の視点	
3. 公共交通網の軸としての「居住」 公共交通の「軸」の明示/八戸市地域公共交通網形成計画と立地適正化計画	
4. 「拠点」を明確にしたネットワークの構築 公共交通における「拠点」の重要性/交通網の拠点と目的地の一体化―八戸市の取組み	
5. 誰が暮らしの足を支えるか 交通事業者まかせで良いのか/地域公共交通を誰がどう支えるか/「暮らしの足」を地域起点で考える	
6. 広がる「ニッチ(隙間)」…「小さな交通」への期待 高い高齢者の免許保有率/八戸圏の運賃低廉化施策/ニッチと小さな交通―創発型サービスの創造	
7. 暮らしの足を支える起点 地域公共交通の支え方/道路運送法の「許可・登録」を要しない輸送/「地域」でできること	
8. 地域住民による「暮らしの足」の確保 山形市明治・大郷地区の取組み/「スマイルグリーン号」の運行を「続ける」こと/通院・買物だけが暮らしではない	
9. 「暮らしの足」としてのタクシーの選択性向上策と「運賃」 回数券タクシー(埼玉県秩父市)の実証実験の成果/交通政策として「運賃」を考える	
10. 「暮らしの足」確保は「総力戦」 青森県佐井村の「ボランティア輸送」/地域主体の移動サービスの成立要件/「三方良し」をどうデザインするか	
【第3章】自家有償運送、互助運送の活用と福祉・運輸部門との連携 近畿大学 三星 昭宏	
1. 福祉有償運送(福祉移送・自家有償運送)サービス 用語の定義について/福祉有償運送の歩み/海外の福祉交通整備の歩み/自家有償運送の実施状況	
2. 地域公共交通をとりまく情勢 地域公共交通利用者の減少とサービス水準の低下/公共交通の衰退が引き起こす問題/地域公共交通確保のための政府の方策	
3. 障害者の身体条件と交通手段 障害者の交通手段/要介護者(旧)と障害者の福祉移送サービス需要層/身体条件と交通サービスの考え方/福祉有償運送の費用と収支率	
4. 改正道路運送法(2006年)と自家有償運送 自家有償運送のネック/ODの問題/利用料金の問題/自家有償運送とバス・タクシー事業の関係	
5. 枚方市の福祉移送サービスの事例と今後の課題 枚方市(大阪府)の取組み/福祉有償運送の発展課題/いろいろな地域公共交通の取組み	
6. 国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめ、それを受けた平成30年4月の政府文書について	
【第4章】地域交通の生き残りをかけた「客貨混載」戦略とその先 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 ～社会インフラとしてのバス・タクシーの限界と可能性～	
1. なぜ、客貨混載なのか? 拡大する交通確保が難しい地域/将来の車運転への不安/マイカー社会の限界	
2. 公共交通は社会のインフラ まちづくりの「要」としての公共交通/これまでの公共交通の限界	
3. バス・タクシー事業におけるドライバー不足と高齢化の影響 ドライバー不足の実態とその影響/北海道夕張市のバス半減とドライバー不足/タクシードライバー不足と高齢化	
4. 複数モードのコラボレーションのこれまで 目前に迫る「スクールバス問題」/様々な移動手段と人材・資源・コスト/路線バスとスクールバスの統合への仕組み/スクールバス等の活用事例	
5. 期待が高まる「客貨混載(客貨混載)」の仕組みと現状 古くて新しい客貨混載/九州で定着する都市間バスへの「バス便小荷物」/宅配バスの社会実験(2000年頃) 幹線区間における客貨混載/中山間地域の客貨混載/宮崎交通(宮城県)の取組み/客貨混載用の車両と混載の方法	
6. 「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人を乗せる新たな発想 客貨混載の効果/客貨混載の課題/末端の交通確保に向け客貨混載の発想を拡大する/横たわる課題と対処法	
7. 今後への展望 国も変わろうとしている/末端部の車両の問題/海外の様々な交通/「ポストバス」の考え方と仕組み/客貨混載を「その次」へ進めるために	
【第5章(資料)】国土交通省・厚生労働省の政策情報―高齢者の移動手段確保のための交通・福祉制度の解説―	
1. 「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめ 2017(平成29)年6月	
2. 「交通」と「福祉」が重なる現場の方々へ～高齢者支援サービスの提供に際しての交通・福祉制度及び事業モデルの整理と解説～(抜粋) 2018(平成30)年3月 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課・自動車局旅客課/厚生労働省老健局振興課	
3. 高齢者の移動手段確保のための「互助」による輸送～道路運送法上の許可・登録を要しない輸送の制度とモデルについて～(抜粋) 2018(平成30)年3月 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課・自動車旅客課	

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 年 月 日】 FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■購入申込み

『超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略』 _____冊

	定 価
超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略	5,445円 (税・送料込)

勤務先 _____ 所属部課役職名 _____
 所在地 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____
 E-mail _____

〈通信欄〉 ○をつけてください
 ・支払方法 (銀行振込・郵便振替・現金書留)
 ・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)
 請求書等宛名: _____

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付, 連絡, 請求, 案内等)のみに使用させていただきます。